

| | | |
|---|--|--|
| <h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">Ital通信</h1> | 氏名 丹野 到 試験日 令和8年2月1(日) 試験科目 聴覚障害児の心理、生理及び病態 (11時00分～12時00分) 視覚障害児の心理、生理及び病態 (14時00分～15時00分) | 令和8年 2月16日 浜玉中学校通信No.196 校長 丹野 到 |
| | 免許法単位認定試験 | |
| <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">2月</div> <div style="text-align: left;"> <p>『浜玉中三訓』 時間 掃除 あいさつ 《時を守り 場を清め 礼をつくす》</p> <p>《学校教育目標》 『豊かな心で、未来を切り拓く生徒の育成』</p> <p>《めざす生徒像》 持続可能な社会の創り手となる生徒</p> </div> </div> | | |

◆ 菊池恵楓園との交流について ◆

本校では、2007年からハンセン病療養所「菊池恵楓園」との交流が続いています。バス研修で菊池恵楓園を訪れたり、暑中お見舞いのはがきを送ったりしています。きっかけは、当時本校に勤務されていた先生が、菊池恵楓園のニュースを目にして「色んなことを知っておかないと、小さい枠の中で排除してしまったりする」といった思いから生徒とともに訪問するようになったと聞いています。



入所されていたハンセン病回復者の志村康さん（佐賀県のご出身）が、菊池恵楓園訪問時に本校生徒へ話をしてくださったり、メディアの取材等で本校を話題にしてくださったりしていただきました。

2024年5月23日付けの朝日新聞では、生徒会の代表者が志村康さんと対面したときの様子を報じてくれました。その志村康さんも、2025年5月1日が92歳で亡くなられたと、同年7月31日付けの朝日新聞が報じ、同年11月22日に追悼記事が朝日新聞に掲載されました。

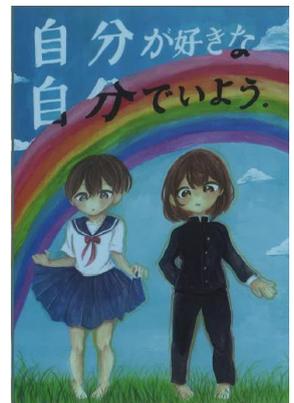
その追悼記事では、「どんなにつらくても死んだらいかん。人生は生きていることに価値があるけんね」という志村さんの生前の言葉が紹介されていました。本校生徒を前にして、志村さんは、「いつも希望が湧くね」「夢を大事にして一生懸命生きてね」と応援してくださっていたとも紹介されていました。

本校では、中学校3年間を通じて人権や平和について生徒たちとともに職員も学んでいます。この流れがずっと続いているのは、これまで本校に在籍した先生方が伝統を重んじて続けてきたからだと思います。この火を絶やさないようにしていかなければいけないと思っています。

◆ 2026年人権カレンダーについて ◆

2026年（令和8年）の人権カレンダーに本校生徒の作品が掲載されていますので、紹介します。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| ○3月 「笑顔の花を広げよう」 3年女子 M. Uさん | ○6月 「自分が好きな自分でいよう」 2年女子 H. Sさん |
|--------------------------------|-----------------------------------|



※ Ital通信は、学校ホームページに掲載、また、関係機関で掲示されていますので、生徒名は出しておりません。

■ 先日の日曜日、久々に単位認定試験を受けた ■ 特別支援教育の二種免許（聴覚と視覚）取得用の単位認定 ■ 以前、行われていた教員免許更新講習の単位認定試験以来 20年ぶり！ ■ 年齢的に暗記能力の低下を実感 ■ 試験開始の直前まで資料とにらめっこ ■ 答え合わせすると、何とか合格かな!(^^)! (イタル)